

令和3年度 活動報告書①

組織名	全体会議（7月17日順）	
委員 所属機関	所属	所属
	上尾市医師会	桶川市教育委員会学校支援課
	上尾市教育センター	桶川市社会福祉協議会
	上尾市社会福祉協議会	おけがわ福祉会
	上尾市手をつなぐ親の会	桶川市民生委員・児童委員協議会
	上尾市民生委員・児童委員協議会	埼玉県鴻巣保健所
	伊奈町身体障害者福祉会	埼玉県立上尾特別支援学校
	伊奈町教育委員会学校教育課	埼玉県立上尾かしの木特別支援学校
	伊奈町社会福祉協議会	埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
	伊奈町民生委員・児童委員協議会	埼玉県立蓮田特別支援学校
	桶川市・北本市・伊奈町医師会	（事務局）上尾市障害福祉課
活動内容	自立支援協議会活動全般に関する協議等	
回	開催日	今年度の目的、内容の検討
第1回	書面開催	令和3年度各部会活動計画
第2回	書面開催	令和3年度各部会の活動報告等
令和3年度 活動報告まとめ		
コロナ禍にあり、各部会活動に関する報告等が中心となることから書面開催とした。		

令和3年度 活動報告書②

組織名	運 営 会 議		
構成員 所属機関	所属	所属	
	あげお福祉会	第2ふちとまと	
	障害者生活支援センターあげお	ピュア・スマイル	
	障害者生活支援センター杜の家	上尾市 障害福祉課	
	障害者生活支援センターあげお	桶川市 障害福祉課	
	相談支援センターわおん	伊奈町 障害者福祉係	
	障害者生活支援センターみのり	（事務局）基幹相談支援センター	
活動内容	全体会運営の協議、各部会の活動内容調整、障害福祉計画に関する協議等		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第1回	R3. 6. 22	各部会報告（毎回実施、以降省略）、本年度の進め方について	事業団あげお
第2回	R3. 8. 24	コロナ禍の取組の情報共有方法に、地域課題共有シート、研修案の確認	リモート
第3回	R3. 10. 26	権利擁護プロジェクトの内容確認、障害福祉計画の内容確認、全体会実施報告	上尾市文化センター
第4回	R3. 12. 21	研修の実施、障害福祉計画の協議、障害者差別に関するアンケート調査	上尾市文化センター
第5回	R4. 2. 22	研修の振り返り、来年度に向けて	リモート
令和3年度 活動報告まとめ			
○ 主に部会からの報告について議論し、その中から地域課題について検討するように努めた。地域課題の例としては、サービス利用のための移送の問題や、コロナ禍で単身者の支援を委託の支援センターがどこまでフォローするかという話も上がった。共有シートの落とし込みや、情報の蓄積・公開方法については今後の課題である（各部会の核となる参加者に、地域課題が積み重なるための意識づけを行う等）。 ○ 会が発足したばかりで部会主体での研修実施は難しいため、実験的に運営会議主体でオンライン研修を企画、実施した（意思決定支援、就労アセスメント）。複数の事業所が自由な時間で活用して受講してくれたが、内容や方法についてはさらに検討を深める必要がある。 ○ 差別解消の課題については、ターゲットを通所事業所に絞ってアンケートを実施することとし、次のアクションについては内容を精査しながら来年度の課題とする。			

令和3年度 活動報告書③

組織名	支援センター部会		
構成員 所属機関	所属	所属	
	障害者生活支援センター杜の家	上尾市 障害福祉課	
	障害者生活支援センターあげお	桶川市 障害福祉課	
	障害者生活支援センターあらぐさ	伊奈町 障害者福祉係	
	障害者生活支援センターみのり	(事務局) 基幹相談支援センター	
	相談支援センターわおん		
活動内容	相談業務における「情報発信と共有の場」「困難事例の検討の場」「援助に関する学びの場」「地域課題の整理や解決策を考える場」となるため事例検討や勉強会を行う。		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第 1 回	R3. 5. 26	年間の活動計画の確認	上尾市文化センター
第 2 回	R3. 6. 9	新規相談実績報告 事例検討2件	上尾市文化センター
第 3 回	R3. 8. 18	新規相談実績報告「コロナ禍における各事業所での対応」	リモート
第 4 回	R3. 9. 8	新規相談実績報告「クラスターが起きた時の施設の対応について」	リモート
第 5 回	R3. 11. 10	新規相談実績報告 事例検討 2 件	上尾市文化センター
第 6 回	R3. 12. 8	新規相談実績報告	上尾市文化センター
第 7 回	R4. 2. 9	新規相談実績報告 現在の相談体制を振りかえって	リモート
第 8 回	R4. 3. 9	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進研修へ参加（鴻巣保健所主催）	リモート
令和 3 年度 活動報告まとめ			
○年度の活動計画としては、①新規相談実績報告、②事例検討、③研修を三本の柱とした。それらを通し地域全体の支援力の向上に繋がるための活動を行った。			
○昨年度と同様、コロナ感染症の大きな影響を受け、方向性を模索しながらの活動となった。			
○毎月、各事業所から持ち寄る新規相談実績報告をもとに意見、情報交換をするだけでなく、それらをグラフなどにまとめ見える化することが出来た。そこから地域の特徴などを読み取り来年度の活動にも繋げていく。			
○研修にとして、部会員に学びたいことについてアンケートも実施した。相談支援体制が変化し支援する障害の種類も増えたことにより、支援に関する学びを希望する意見が多かった。特に精神関連や児童など分野の希望が目立った。次年度の部会に生かしていく。			

令和3年度 活動報告書④

組織名	計画相談部会		
構成員 所属機関	所属	所属	
	相談支援事業所ピュア・スマイル	上尾市 障害福祉課	
	障害者生活支援センターみのり	いずみのの家	
	ケアビジョン桶川	（事務局）基幹相談支援センター	
活動内容	計画相談に関する課題抽出、整理を行う。 事業所意見交換会を開催し、交流を深め事業所の質の向上を図る。		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第 1 回	R3. 4. 7	今年度の活動計画の確認・情報交換に向けての打合せ	事業団あげお
第 2 回	R3. 5. 19	第 1 回情報交換会「情報交換しよう！計画作成における主な報酬体系について」 （参加事業所：計画相談事業所17、行政）	上尾市文化センター
第 3 回	R3. 6. 30	第 1 回情報交換会の振り返り、第 2 回情報交換会の企画	いずみのの家
第 4 回	R3. 7. 28	第 2 回情報交換会の打合せ、事例集・Q&Aの検討	いずみのの家
第 5 回	R3. 9. 1	第 2 回情報交換会に関する打合せ	リモート
第 6 回	R3. 9. 28	第 2 回情報交換会「こんな風に作っています。計画作成」 （参加事業所：計画相談事業所17、行政）	上尾市文化センター
第 7 回	R3. 10. 26	第 2 回情報交換会の振り返り、第 3 回情報交換会の企画	いずみのの家
第 8 回	R3. 12. 15	第 3 回情報交換会のアンケート作成と企画、Q&Aの検討	いずみのの家
コロナにより延期	(R4. 2. 2)	(第 3 回情報交換会 「あったらいいな、こんな支援」)	
第 9 回	R4. 2. 22	Q&A作成に向けた取組み（行政も参加） 今年度の振り返り	リモート
第 1 0 回	R4. 3. 14	Q&A作成に向けた取組み（行政も参加）	上尾市文化センター
令和 3 年度 活動報告まとめ			
○相談支援事業所同士の横の繋がりの強化と質の向上、一人職場（小人数職場）の悩み解消のため、情報交換会を年 3 回企画した。感染拡大を受け第2回はリモートで実施した。リモートでは、活発な意見交換がし辛いという課題もあり、第3回目は延期とした。			
○計画作成数の是正を図るために、各事業所の新規受け入れ可能状況を確認し、一覧表を作成した。今後、行政が活用していくこととなっている。			
○計画作成や加算についての質問を相談支援事業所から募り、行政に協力を依頼しながら、Q&A集の作成を行っている。			

令和3年度 活動報告書⑤

組織名	こども部会		
構成員 所属機関	所属		所属
	障害者生活支援センターあげお		埼玉県発達障害総合センター
	いずみ園		桶川市 こども未来課
	県央療育センター		上尾市 東保健センター
	桶川市児童発達支援センター		(事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	・ 子どもに関する事業所の現状や役割の共有 ・ 発達障害についての取り組みの把握 ・ 交流会・勉強会の実施		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
(事前打合せ)	R3. 4. 30	R 3 年度部会活動案について	桶川市役所
(事前打合せ)	R3. 6. 11	埼玉県発達障害総合センター職員との打合せ 部会での取り組み確認・地域での検討について具体的内容の確認	上尾市文化センター
第 1 回	R3. 6. 15	部会長選任・今年度の部会活動について共有	桶川東公民館
第 2 回	R3. 8. 10	第 1 回事業所交流会の企画	上尾市東保健センター
第 3 回	R3. 10. 5	第 1 回事業所交流会の最終打ち合わせ	上尾市文化センター
第 4 回	R3. 10. 19	第 1 回事業所交流会の実施 「知り合おう・つながろう」 (児発 9、特支 2、相談 4、行政 1 の参加)	上尾市文化センター
第 5 回	R3. 11. 16	第 1 回事業所交流会振り返り、第 2 回事業所交流会のテーマについて	上尾市役所
コロナにより中止	(R4. 1. 18)	(第 2 回事業所交流会) (「就学に向けての支援」)	
第 6 回	R4. 3. 18	今年度の取り組みの振り返りや次年度の取り組みテーマについて	リモート

令和3年度 活動報告まとめ

○今年度のこども部会は、「子どもに関する事業所の現状や役割の共有」「発達障害についての取り組みの把握」「交流会・勉強会の実施」の3本柱で取り組む事とした。

○交流会は、関係事業所数が多いが横のつながりが薄い為、繋がりを作る場として、また、それぞれの事業所での取り組みを学び合う場として実施をした。

○第1回は、発達障害児への支援とし「知り合おう・つながろう」をテーマに実施。

○第2回は、更に討議を深められるよう「就学に向けての支援」をテーマに、実例を基に実施を予定していたが、コロナ禍により中止となってしまった。

○次年度も中心となるテーマを決めながら、地域の実情に合わせた取り組みを検討する予定。

令和3年度 活動報告書⑥

組織名		サービス管理責任者部会		
構成員 所属機関		所属		所属
		第2ふちとまと		Kauri
		ピュア・スマイル		りんごの家
		グリーンドア		一の郷
		グローブ		桶川市 障害福祉課
		(事務局) 基幹相談支援センター		
活動内容		各障害福祉サービス事業所の支援の質の向上と連携強化のための取組みを実施 サービス管理責任者同士の交流と地域課題抽出		
種別	回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
サビ管部会 (全体)	第1回	R3. 6. 7	各支部会の振り分け等	上尾市文化センター
	第2回	R3. 9. 16	各支部会の進捗状況確認	上尾市文化センター
	第3回	R3. 11. 15	各支部会の進捗状況確認	上尾市文化センター
	第4回	R4. 2. 7	1年間のまとめ「活動報告」の確認	リモート
就労系支部会	第1回	R3. 7. 26	第1回 就労系事業所連絡会 (顔合わせ・次回議題検討)	上尾市文化センター
	第2回	R3. 9. 29	第2回 就労系事業所連絡会 ①事例検討(2事業所) ②個別支援計画検討	リモート
	第3回	R3. 11. 25	第3回 就労系事業所連絡会 ①事例検討(2事業所) ②人材育成について	上尾市文化センター
	コロナにより延期	(R4. 1. 27)	(第4回 就労系事業所連絡会) (①事例検討 ②B型事業工賃について)	
生活介護支部会	第1回	R3. 9. 7	第1回 生活介護事業所連絡会 (自己紹介・情報交換)	リモート
	第2回	R3. 12. 14	第2回 生活介護事業所連絡会 (行動障害・人材育成について)	上尾市文化センター
	コロナにより延期	(R4. 3. 1)	(第3回 生活介護事業所連絡会) (行動障害等の支援状況について)	
短期支部会	第1回	R3. 9. 17	第1回 短期入所事業所連絡会 (各事業所状況報告等)	リモート
	コロナにより中止	(R4. 1. 21)	第2回 短期入所事業所連絡会 (パンフ・見取り図等にて詳細紹介等)	
GH支部会	第1回	R3. 10. 20	第1回 グループホーム連絡会 (2市1町全事業所での初集合型GH情報交換会)	上尾市文化センター
	コロナにより中止	(R4. 2. 2)	第2回 グループホーム連絡会 (グループで情報・現状や課題の共有等)	

令和3年度 活動報告まとめ

- 昨年度は準備期間だったため、今年度が実質的スタートとなった。しかし、コロナ禍であり、リモートになることもあった。あらためて直接顔を合わせる大切さを感じた。
- 今年度は直接集まって出来るようになり、顔合わせ・情報交換が中心の1年であった。
- 生活介護の行動障害支援の困難さが数件上げられた。次年度に深める課題とする。
- 生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援事業のグループは、多機能型事業所の場合はいずれか一つに所属のため、全ての同種事業所の意見ではないので、編成含めて次年度検討する。

令和3年度 活動報告書⑦

組織名	地域移行・地域定着支援部会		
構成員 所属機関	所属		所属
	相談支援センターわおん		障害者生活支援センター杜の家
	武蔵野病院		埼玉県立精神医療センター
	上尾の森診療所		済生会鴻巣病院
	上尾市 障害福祉課		桶川市 障害福祉課
	伊奈町 障害者福祉係		埼玉県立精神保健福祉センター
	鴻巣保健所		(事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	精神障害にも対応した対応した地域包括ケアシステム構築に係る検討 ・ 部会を市町の協議の場として位置付ける ・ 医療と連携し事例検討及び支援状況の確認、地域課題の整理を行う		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第 1 回	R3. 5. 14	R2年度医療機関訪問ヒヤリング報告 部会活動案検討・3医療機関から事例提供	桶川市社会福祉協議会
コア会議	R3. 6. 11	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの共有 今後の事例検討の方向性検討	上尾市文化センター
第 2 回	R3. 7. 9	事例の進捗状況から地域課題の抽出	桶川市社会福祉協議会
コア会議	R3. 8. 13	事例検討のための事例提供シート、アセスメントシート等書式の検討	上尾市文化センター
コア会議	R3. 9. 10	1医療機関から事例提供、検討 地域の事例（鴻巣保健所）から事例提供、検討	上尾市文化センター
第 3 回	R3. 10. 8	事例の進捗状況から地域課題の抽出	上尾市文化センター
コア会議	R3. 11. 12	他地域の取組状況から課題抽出方法検討	上尾市文化センター
第 4 回	R3. 12. 10	各機関状況情報共有 ・事例検討	上尾市文化センター
コア会議	R4. 1. 14	部会振り返り ・事例検討	上尾市文化センター
コア会議	R4. 2. 4	今年度のまとめ・次回部会内容検討	リモート
第 5 回	R4. 3. 11	地域課題から地域で取り組めること検討	上尾市文化センター
令和３年度 活動報告まとめ			
○地域包括ケアシステムの市町の協議の場として部会を位置づけ5回開催した。開催にあたり、半数の機関がコア会議へ参画し、部会の運営を検討することができた。			
○圏域の４医療機関が部会員として参加し、医療と福祉の連携をテーマに、実事例から地域課題の抽出を行った。各関係機関の取り組みを共有する1年であった。			
○抽出した地域課題から、地域が取り組めることを模索し、保健分野も交えた地域づくりを行っていくことが今後の課題である。			

令和 3 年度 活動報告書⑧

組織名	医療的ケア児等支援部会		
構成員 所属機関	所属		所属
	障害者生活支援センターあらぐさ		上尾市児童発達支援センターつくし学園
	ピュア・スマイル		ひこうき雲
	訪問看護ステーションみやび		埼玉県川島ひばりが丘特別支援学校
	上尾市 障害福祉課		桶川市 こども未来課
	伊奈町 障害者福祉係		(事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	医療的ケア児等を取り巻く現状と地域課題の共有をはかり、市町の協議の場と連携しながら、部会を進めていく。		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第 1 回	R3. 6. 8	事業所の顔合わせ・今年度の活動計画確認	桶川市役所
第 2 回	R3. 9. 15	事業所の取組みと課題について共有 事例提供・つくし学園 ・川島ひばりが丘特別支援学校 市町の庁内会議・協議会の共有	リモート
第 3 回	R3. 11. 17	事業所の取組みと課題について共有 事例提供・ひこうき雲 ・ピュアスマイル 市町の庁内会議・協議会の共有	上尾市文化センター
第 4 回	R4. 2. 16	事業所の取組みと課題について共有 事例提供・障害者生活支援センターあらぐさ	リモート
令和３年度 活動報告まとめ			
○部会としては今年度からスタートしたため、部会長は選任せず事務局中心に実施した。幼児期～成人期に関わる機関が部会メンバーのため、それぞれがどのような取組みと支援を実践しているのか情報の共有を行い、地域課題の抽出を行った。			
○市町の医ケア児等に関わる庁内会議・連絡会との情報交換を行った。			
○次年度は、医ケアコーディネーターとの連携や、地域への啓発を行っていく。			

令和3年度 活動報告書⑨

組織名	障害福祉計画部会		
構成員 所属機関	所属		所属
	あげお福祉会		第2ぷちとまと
	障害者生活支援センターあげお		
	障害者生活支援センター杜の家		上尾市 障害福祉課
	障害者生活支援センターみのり		桶川市 障害福祉課
	相談支援センターわおん		伊奈町 障害者福祉係
	(事務局) 基幹相談支援センター		
活動内容	障害者計画の策定に係る提言・助言（運営会議にて実施をする）		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第1回	R3. 6. 22	本年度の活動計画案について共有（運営会議での位置付け・各市町計画の確認・評価・協議を適宜実施していく事）	事業団あげお
第2回	R3. 8. 24	各部会での課題について蓄積すべき事柄を確認 桶川市の中間評価の依頼予定について 上尾市障害福祉施策推進委員会についての共有	リモート
第3回	R3. 10. 26	各市町の計画における数値の考え方等について	上尾市文化センター
第4回	R3. 12. 21	上尾市障害福祉施策推進委員会へ自立協からの意見・課題提出について	上尾市文化センター
第5回	R4. 2. 22	桶川市障害者計画中間評価について 上尾市障害福祉施策推進委員会 委員意見について	リモート
令和3年度 活動報告まとめ			
○上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会運営会議のメンバーで構成され、適宜、各市町の計画に関する意見収集や地域課題に対する提案、中間評価等を実施した。			
○自立支援協議会にて各市町における計画について、どの程度議論し、どのように検討していくべきかについて検討を行った。計画に対して深く掘り下げて議論する必要性があり、今後どのように取り扱っていくべきかについては、引き続きより良い在り方を探っていく必要がある。			

令和３年度 活動報告書⑩

組織名	権利擁護プロジェクト		
構成員 所属機関	所属		所属
	障害者生活支援センターみのり		榆の木
	伊奈町 障害者福祉係		(事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	虐待防止・権利擁護に係る研修の企画等		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第 1 回	R3. 6. 17	サービス管理責任者向け研修の打合せ 事業所アンケート実施の検討	ふじ学園
	R3. 11 発送	事業所アンケートの実施	
第 2 回	R3. 12. 13	アンケートの分析と来年度の研修実施に向けた内容・活動計画	杜の家
第 3 回	R4. 2. 10	アンケート集計結果に基づき研修内容の検討	リモート
令和 3 年度 活動報告まとめ			
○サービス管理責任者対象として、自事業所での虐待防止・権利擁護の研修や仕組みづくりができるような内容で検討を始める。			
○虐待防止に係る各事業所での委員会の設置状況及び研修の実施状況について、アンケート調査を行った。			
○アンケートの取りまとめの結果、グレーゾーンや実事例についての研修要望が高いことから、来年 7 月の予定で管理者を対象とした地域集合型研修を実施することとした。			

令和3年度 活動報告書⑪

組織名	地域生活支援拠点整備プロジェクト		
構成員 所属機関	所属		所属
	上尾市 障害福祉課		桶川市 障害福祉課
	伊奈町 障害者福祉係		(事務局) 基幹相談支援センター
活動内容	毎月の基幹・行政連絡会の時間を活用し、地域生活支援拠点の体制整備の検討を行う。		
回	開催日	今年度の部会の目的、内容の検討	場所
第1回	R3.5.20	年度スケジュール・協議内容の確認 拠点に関する各種加算について検討	上尾市役所
第2回	R3.6.23	他地域の取組み（東部ブロック資料）を共有 先進地域への視察前打合せ	事業団あげお
第3回	R3.7.12	先進地域（オリーバ：埼葛北）への視察	埼葛北地域拠点事業（オリーバ）
第4回	R3.7.27	この地域で出来る取組みについて検討 事業所への聞き取り調査について	伊奈町役場
第5回	R3.8.27	プロジェクトを含んだ今後の取組み等について	桶川市役所
第6回	R3.9.22	けやき荘への拠点協力についての訪問	自立訓練施設けやき荘
第7回	R3.9.24	下期の活動内容の確認（各種課題について検討）	上尾市役所
第8回	R3.10.27	各種課題について検討（特に登録対象者について） 行政への拠点該当者の調査依頼	伊奈町役場
第9回	R3.11.24	来年度仕様書・覚書も含めた修正や今後の打合せ形態 についての検討	桶川市役所
第10回	R3.12.22	行政調査結果に対する今後の動き等の検討	上尾市役所
第11回	R3.12.28	登録対象者・要綱の整備等、今後についての検討	上尾市役所
第12回	R4.2.21	新たな行政メンバーにて全体課題や女性登録者について検討	桶川市役所
第13回	R4.3.22	来年度に向けた地域課題の優先順位・整理を検討予定	上尾市役所

令和3年度 活動報告まとめ

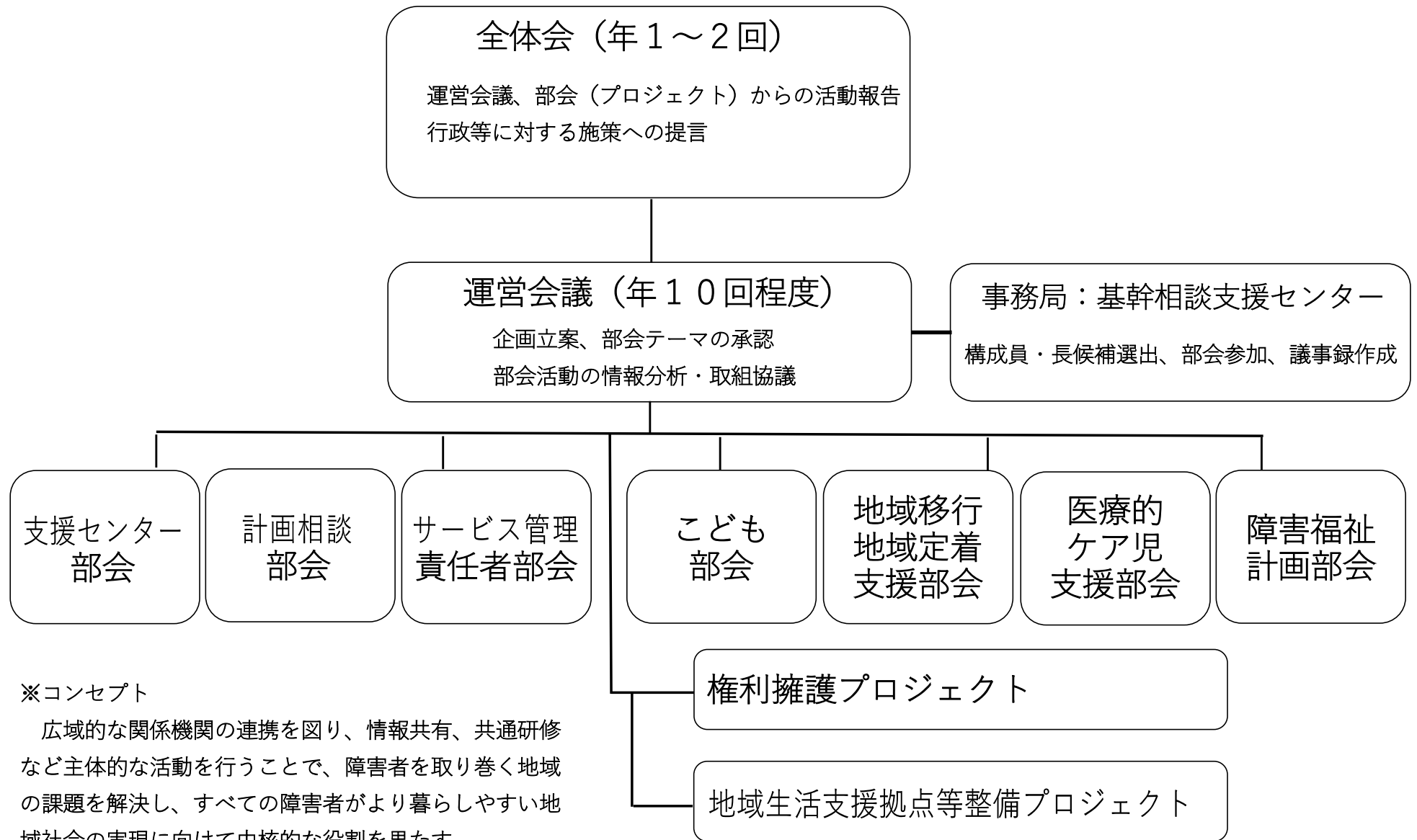
○その他の活動として、11月に生活介護事業所（3法人）への拠点説明や該当者確認の訪問、基幹としての下期相談支援事業所訪問（委託・計画）に合わせて、拠点に関する該当者の再確認を行った。

○この圏域の実情に応じた創意工夫や面的な整備を行うために、先進地域への視察・他地域の取組みの共有・実態調査（行政調査・生活介護事業所・計画相談事業所への訪問調査）を行った。

○仕組みづくりでは、各種加算についての議論に加えて、登録対象者の拡大や事業所との調整について行政と協働で進めている。

○上記を踏まえ次年度は、拠点コーディネーターを中心に平時の相談の強化・拠点登録者の拡大、拠点協力事業所が参加するプロジェクトの充実等を実施し、また改めてこの圏域での拠点において、必要な取り組みや仕組みは何かを考え、見直しながらの活動を行っていきたい。

上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会 組織図（令和3年度）



※コンセプト

広域的な関係機関の連携を図り、情報共有、共通研修など主体的な活動を行うことで、障害者を取り巻く地域の課題を解決し、すべての障害者がより暮らしやすい地域社会の実現に向けて中核的な役割を果たす。